



検討中の複合施設の模型

## 施設の設計 進めています

# 交流拠点 複合施設

前回（広報たきざわ2月5日号）でお知らせしたとおり、昨年10月から滝沢村交流拠点複合施設（約5千平方メートル）と産業雇用創造センター（約900平方メートル）、消防屯所（約300平方メートル）の3棟の建築設計と約4分の1の造成設計・地質調査を進めており、内容が具体化してきた部分についてお知らせします。

### ★複合施設の特徴

○複合化を最大限に生かす  
複合施設の良さは、いろいろな世代の人が集うことです。交流空間を広く取り、休息やイベントに対応できるように考えています。

○各部屋の多用途化

管理費も考え、全体の限られた面積の中で、多用途と使い勝手の両立を目指し、各部屋の仕様を検討しています。

○平屋の良さを生かす

東西南北の十字の軸を設け、各部屋を分かりやすく配置し、迷わず安心して使え、活動の様子が見えることで関心を高めます。

○活動を支援

市民活動支援センター機能が団体の活動を支援し、印刷室や相談室、打ち合わせコーナーなどを設置します。

### ★主な部屋の内容と検討項目

キッズルーム：親子でくつろげる部屋とし、併設して授乳室・子どもトイレ、遊具などを設けます。

会議室：広い会議室を区切って使えたり、防音や土足禁止の部屋を設けたり近年の多様な活動に対応できるように工夫しています。

小ホール：ダンスなどの軽運動やパーティ、公演、展示、健康診断などの利用を図ります。



作業部会全体会で検討

大ホール：約500席のホールは、平土間利用可能とし、公演やダンス、パーティと広く活用できるもので、ホールの専門家も入り音響や観客席の見え方、座り心地、ステージの使いやすさなどを追及しています。

可動式の観客席は、自由な位置に設置可能なタイプも検討しています。

また、控室を会議室に利用したり、大会議室を控室に利用したりと無駄のない相互利用を考えています。

ホワイエ：広い空間でイベントや展示会ができるほか、ホールの後壁と小ホールの一部の壁を開放することで大空間を作り、展覧会やフェア、ショーなど、多くの企画を生み出す空間とします。

和室：茶道のほか、読み聞かせ会など多用途に使えます。

キッチン・スタジオ：テーブルにシンクを付けず自由に動かせることで、その場で飲食しやすくし、屋外広場との連携や災害時の炊き出しが行いやすい位置にします。

屋内広場：喫茶コーナーもあり、休憩や語らいの場になります。

2階スペース：プロポーザル案は全体が1階建てでしたが、大屋根であることを活かし、吹き抜け部分を活用し、学習コーナーや市民活動コーナーを設けます。

図書館：東側の落ち着いた位置としながら、子どもたちも来やすい開放的な空間を目指しています。

約10万冊が収容でき、雑誌や新聞などを、喫茶コーナーに置くことも検討しています。

### ★今後の予定

各部屋の具体的な内容と配置、屋外空間、ユニバーサルデザイン、再生可能エネルギーなどについても順次お知らせしていきます。

作業部会の様子や図面については、村ホームページに随時掲載していきますので、そちらもご覧ください。平成25年度末までに実施設計を終え、工事は平成27年度中の完成を目指しています。



